

カリキュラム及び修了生の技術習得内容例

建設科

理論：安全危機管理(5S)、建築構造の基礎知識、工具の使用法など
 実技：レンガ建築、屋内配線、水道等のパイプ修理、家具作成など

電気科

理論：安全危機管理(5S)、電気の基礎知識、配線の種類と方法など
 実技：屋内電気配線の施工と修理、配線カバーの作成、エアコンやソーラーシステムの設置取付など

自動車整備科

理論：安全危機管理(5S)、工具の使用法、電機と配線の知識、自動車の構造と各パーツの種類と意味など
 実技：自動車配線接続、エンジン・サスペンション・ステアリングなど基本的な修理など

溶接科

理論：安全危機管理(5S)、アーク/ガス溶接(1G-4G)の基礎知識など
 実技：アーク/ガス溶接による切断・溶接、屋根・テーブル・椅子・ベンチ製作、サッシの取り付けなど、

卒業生の就職先 (約80%の訓練生が就職)

訓練科	入学生数	卒業生数	就職した生徒数	就業率	主な就業先
建設科 (第1期~9期)	210	186	151	81%	建設現場、BAJ建設現場
電気科 (第1期~9期)	220	209	179	86%	電気工事現場 電気用品店、日系企業
自動車整備科 (第1期~8期)	237	221	191	86%	自動車整備工場、日系自動車関連企業
溶接科 (第1期~7期)	165	156	120	87%	溶接工場、建設現場、日系橋梁製造企業、日系建設会社
計	832	772	641	83%	(2019年8月末現在)

年間スケジュール (2019年例)

	1月入学希望者	7月入学希望者
公募	前年の10月ごろ	5月ごろ
入学式	1月	7月
中間試験	5月	10月
期末試験	7月	12月
卒業式	7月	12月

問い合わせ 一般社団法人サステナブリッジ

東京オフィス

住所：東京都千代田区九段南1丁目
5番6号りそな九段ビル5F

<https://sustaina-bridge.org>

ヤンゴンオフィス

住所：No. 9, U Lu Ni Street, Kye
Myin Daing Township, Yangon

電話番号：+95-1-2301241

E-mail : yangon@sustaina-bridge.org

バアンフィス

住所：Hpa-an Hlaing Bwe Road,
Behind Hpa-an Industrial Zone
Executive Committee Office, Hpa-an
Township, Kayin State

電話番号：+95-9-255812475

E-mail : hpa-an@sustaina-bridge.org



パアン技術訓練学校 ご案内

一般社団法人
サステナブリッジ



国境地域の青年に技術教育を！ 技術／職業訓練を通じて格差是正を目指す！

Technical Training School in Karen

パアン技術訓練学校とは



2014年ミャンマー政府国境省と日本のNGOが協働し立ち上げた学校で2020年より、日本財団の資金にて弊団体が運営を引き継ぎました。パアン技術訓練学校では、これまで教育機会に恵まれなかった国境地域に居住する若者を対象に技術訓練（「自動車整備」、「電気」、「溶接」、「建設」の4コース）の機会を提供しています。1コース5.5か月（660時間）とし各コースそれぞれ年2回実施しています。

若者に「手に職」を身につけてもらい、収入を得られるようになってもらう。そして少しでも貧困解消や格差の是正に繋げる事が、この地域に平和と持続的な安定を根付かせるものと考えています。

パアン技術訓練学校プロジェクトマネージャー 眞子

建設、電気、溶接、自動車の4コース



建設科



溶接科



電気科



自動車整備科

訓練学校の先生たち

- 建設科インストラクター： U Ye Min Aung
その他、アシスタント2名、TA2名
- 電気科インストラクター： U Soe Moe Khaing
その他、アシスタント2名、TA2名
- 溶接科インストラクター： U Maung Htay
その他、アシスタント2名、TA2名
- 自動車整備科インストラクター： U Kyaw Myo Oo
その他、アシスタント3名、TA1名



U Ye Min Aung (建設)



U Maung Htay (溶接)



U Kyaw Myo Oo (自動車)



Soe Moe Khaing (電気)

教員：20名、その他事務スタッフ：25名

訓練環境

訓練生寮にて約5.5か月間寝泊まりを行い、学業に励んでいます。起床後は、朝礼に参加し、施設の清掃を行ったあと、朝食を取り、午前中は教室で理論を学び、午後は技能実習をしております。生活や訓練に必要な生活用品や工具が支給され、訓練生が学びに集中できる環境を整えています。年間のうち3~6か月ほど、日本から技術者が派遣され直接、指導を受けられるのも特徴です。また、スポーツ大会でチームワークを学んだり、一般教養やライフスキルが得られるよう土曜日には特別授業も行っています。

訓練後は、技術訓練で得た知識、経験、技術を用い就労の機会を得ることを期待しています。技術訓練の内容は国が発展する時に必要な基礎技術を選び、同地域やヤンゴンなどで就業機会につながるように工夫しています。本事業の訓練内容はミャンマー政府の国境省教育訓練局が政府の標準カリキュラムとして指定されるなど質の高いものとなっており、このカリキュラムに沿って授業(学科・実技)、試験を実施しています。技術訓練コースを修了するには決められた日数以上の授業に参加する事、また試験に合格する事が求められます。一定のレベルを達した訓練生には政府発行の修了書が発行されます。



三食無料で提供される